

金融機関借入明細表

基本情報

基準日: 2024年1月31日

作成部署: 経理部

作成者: 経理主任 山田花子

確認者: 経理部長 田村次郎

作成日: 2024年2月5日

借入残高サマリー

項目	金額（千円）	構成比
短期借入金	80,000	40.0%
長期借入金	120,000	60.0%
合計	200,000	100.0%

前年同期比較

項目	2024年1月末	2023年1月末	増減額	増減率
短期借入金	80,000	75,000	+5,000	+6.7%
長期借入金	120,000	135,000	-15,000	-11.1%
合計	200,000	210,000	-10,000	-4.8%

金融機関別借入明細

みずほ銀行

短期運転資金借入

項目	内容
借入残高	50,000千円
借入実行日	2023年7月1日
返済期限	2024年6月30日
金利	2.1%（変動金利）
返済方法	期日一括返済
担保	なし
保証	代表者保証

金利変更履歴:

- 2023年7月: 1.8%
- 2023年9月: 2.1% (市場金利上昇に伴う見直し)

設備資金借入

項目	内容
借入残高	80,000千円
当初借入額	100,000千円
借入実行日	2022年3月31日
返済期限	2027年3月31日
金利	2.3% (固定金利)
返済方法	元金均等返済 (月額4,000千円)
担保	本社建物・土地
保証	代表者保証

資金使途: CNC加工機2台の購入

三井住友銀行

短期運転資金借入

項目	内容
借入残高	30,000千円
借入実行日	2023年10月1日
返済期限	2024年9月30日
金利	2.8% (変動金利)
返済方法	期日一括返済
担保	なし
保証	代表者保証

金利変更履歴:

- 2023年10月: 2.2%
- 2023年11月: 2.8% (財務指標悪化に伴うリスクプレミアム上乘せ)

金利上昇の要因:

- 売上債権回転期間の悪化
- A-Tech社向け債権の増加

3. 自己資本比率の低下

日本政策金融公庫

設備資金借入

項目	内容
借入残高	40,000千円
当初借入額	50,000千円
借入実行日	2021年12月31日
返済期限	2026年12月31日
金利	1.9%（固定金利）
返済方法	元金均等返済（月額2,000千円）
担保	なし
保証	代表者保証

資金使途: 検査設備の導入

返済予定表

2024年度返済予定

月	みずほ銀行	三井住友銀行	日本政策金融公庫	合計
2月	4,000	0	2,000	6,000
3月	4,000	0	2,000	6,000
4月	4,000	0	2,000	6,000
5月	4,000	0	2,000	6,000
6月	54,000	0	2,000	56,000
7月	4,000	0	2,000	6,000
8月	4,000	0	2,000	6,000
9月	4,000	30,000	2,000	36,000
10月	4,000	0	2,000	6,000
11月	4,000	0	2,000	6,000
12月	4,000	0	2,000	6,000
1月	4,000	0	2,000	6,000

年間返済予定額: 152,000千円

借換え・新規借入予定

みずほ銀行短期借入（6月満期）

借換え予定: 50,000千円 予想金利: 2.3-2.5% 交渉状況: 2月中旬から本格交渉開始

三井住友銀行短期借入（9月満期）

借換え予定: 30,000千円 予想金利: 3.0-3.2% 交渉状況: A-Tech社債権の状況次第で条件変更の可能性

金利負担分析

2024年1月の金利負担

金融機関	借入残高	金利	月間金利負担
みずほ銀行（短期）	50,000	2.1%	88千円
みずほ銀行（長期）	80,000	2.3%	153千円
三井住友銀行	30,000	2.8%	70千円
日本政策金融公庫	40,000	1.9%	63千円
合計	200,000	2.4%	374千円

年間金利負担予測

2024年度予想金利負担: 4,488千円 前年度実績: 3,960千円 増加額: 528千円（+13.3%）

増加要因:

1. 市場金利の上昇
2. 信用リスクプレミアムの上乗せ
3. 借入残高の微増

財務コベナント

みずほ銀行（設備資金）

項目	基準値	2024年1月実績	判定
自己資本比率	30%以上	40.0%	✓
営業利益	2期連続赤字禁止	黒字継続	✓
借入金月商倍率	6倍以下	3.0倍	✓

三井住友銀行

項目	基準値	2024年1月実績	判定
自己資本比率	25%以上	40.0%	✓

項目	基準値	2024年1月実績	判定
売上債権回転期間	60日以内	49.3日	✓
流動比率	120%以上	145.2%	✓

注意事項: A-Tech社債権の状況次第では、売上債権回転期間が基準値を超過する可能性あり

資金繰り状況

手元流動性

項目	金額（千円）
現金及び預金	25,000
当座貸越枠（未使用）	20,000
合計	45,000

月次資金繰り予測（3ヶ月）

2024年2月

項目	金額（千円）
期初残高	25,000
営業収入	75,000
営業支出	-65,000
借入金返済	-6,000
期末残高	29,000

2024年3月

項目	金額（千円）
期初残高	29,000
営業収入	70,000
営業支出	-63,000
借入金返済	-6,000
期末残高	30,000

2024年4月

項目	金額（千円）
----	--------

項目	金額（千円）
期初残高	30,000
営業収入	72,000
営業支出	-64,000
借入金返済	-6,000
期末残高	32,000

注意事項: A-Tech社からの回収が遅れた場合、6月の借換え時に追加担保が必要となる可能性

金融機関との関係

みずほ銀行

担当者: 法人営業部 課長 佐藤太郎
関係: メインバンク、取引歴8年
最近の面談: 2024年1月25日

銀行側の評価:

- 1. 長期にわたる安定した取引実績
- 2. 過去8年間の返済実績は良好（延滞歴なし）
- 3. 自己資本比率40%は同業他社平均（35%）を上回る
- 4. 主力事業の技術力・競争力を高く評価

銀行側の懸念事項:

- 1. A-Tech社向け債権の回収状況
- 2. 売上債権回転期間の悪化
- 3. 6月借換え時の条件

当社からの説明事項:

- 1. A-Tech社債権の回収計画
- 2. 新規顧客開拓の進捗（B-Manufacturing社等との取引拡大）
- 3. 収益改善策の実施状況
- 4. 設備投資による生産性向上効果（15%向上を達成）

三井住友銀行

担当者: 中小企業営業部 係長 田中花子
関係: サブバンク、取引歴3年
最近の面談: 2024年2月1日

銀行側の評価:

- 1. 財務体質は同規模企業と比較して良好
- 2. 流動比率145%は十分な水準
- 3. 製造業としての技術基盤が安定

4. 経営陣の業界経験・経営能力を評価

銀行側の懸念事項:

1. 金利上昇の背景となった財務指標悪化
2. 9月借換え時の条件
3. 他行との取引状況

特記事項: 当行としては継続的な取引を希望。金利条件は市場環境を反映したものであり、財務改善により見直し可能

日本政策金融公庫

担当者: 中小企業事業本部 融資課 山田一郎

関係: 政府系金融機関、取引歴5年

最近の面談: 2023年12月15日

公庫側の評価:

1. 返済実績は極めて良好（5年間延滞なし）
2. 設備投資の効果が着実に現れている
3. 雇用維持・創出に貢献している企業
4. 地域経済への貢献度が高い

特記事項:

- 返済実績良好により、追加融資の相談可能
- 設備近代化資金の利用実績あり
- 経営改善計画の進捗も良好と評価

今後の資金調達計画

短期的な課題（6ヶ月以内）

1. みずほ銀行短期借入の借換え

- 時期: 2024年6月
- 金額: 50,000千円
- 予想条件: 金利2.3-2.5%

2. 三井住友銀行短期借入の借換え

- 時期: 2024年9月
- 金額: 30,000千円
- 予想条件: 金利3.0-3.2%、追加担保の可能性

中期的な計画（1-2年）

1. 設備投資資金の調達

- 必要額: 120,000千円
- 調達先: みずほ銀行、日本政策金融公庫

- 時期: 2024年下半期

2. 借入構成の最適化

- 長期借入比率の向上
- 金利負担の軽減
- 返済条件の改善

リスク要因と対策

主要リスク

1. A-Tech社債権の回収遅延

- 影響: 資金繰り悪化、銀行評価低下
- 対策: 早期回収、貸倒引当金の積み増し

2. 金利上昇

- 影響: 金利負担の増加
- 対策: 固定金利への借換え検討

3. 財務指標の悪化

- 影響: 借換え条件の悪化
- 対策: 収益改善、財務体質強化

対策の実施状況

- A-Tech社債権対策:** 法的措置の準備中
- 金利対策:** 固定金利借換えの検討開始
- 財務改善:** 新規顧客開拓、コスト削減の実施

作成者: 経理主任 山田花子

確認者: 経理部長 田村次郎

承認者: 代表取締役社長 鈴木一郎

次回更新予定: 2024年2月末